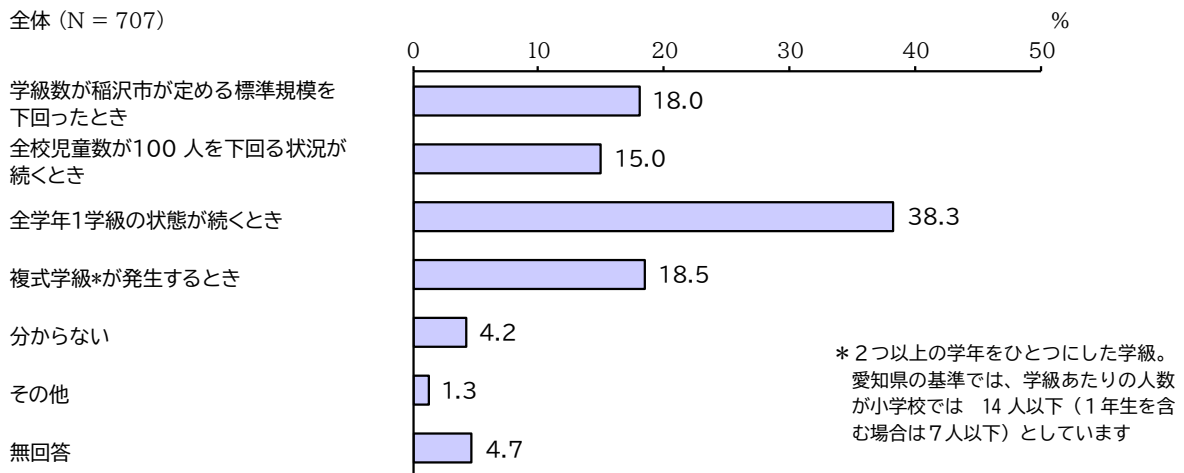


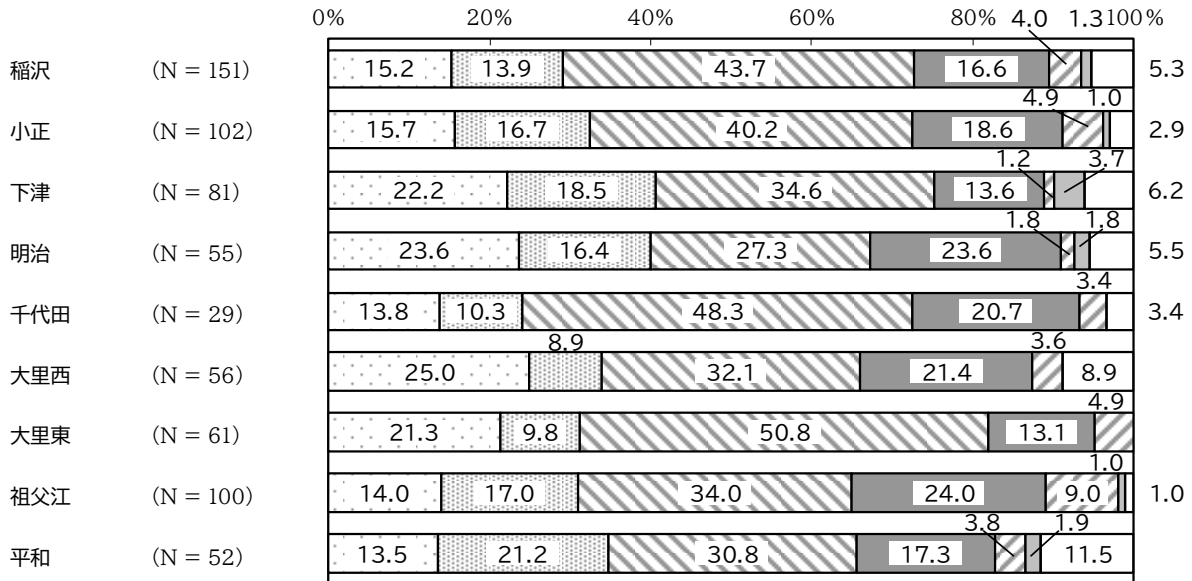
問 13 で「2. 現状の学校配置が望ましいが、学校再編は仕方がない」「3. 小規模な小学校は、学校再編を進めるべきだ」と答えた方にお聞きします。

問 13-3 一般的に、小学校では、どの程度小規模になったら、学校再編が必要であると考えますか。あなたの考えに近いものを選んでください。(○は1つだけ)



【居住地区別】

- 学級数が稲沢市が定める標準規模を下回ったとき
- 全校児童数が100人を下回る状況が続くとき
- 全学年1学級の状態が続くとき
- 複式学級が発生するとき
- 分からない
- その他
- 無回答



●どの程度小規模になったら、学校再編が必要であるかについて「全学年1学級の状態が続くとき」と答えた方が4割近く

「全学年1学級の状態が続くとき」の割合が38.3%と最も高く、次いで「複式学級が発生するとき」の割合が18.5%、「学級数が稲沢市が定める標準規模を下回ったとき」の割合が18.0%となっています。

居住地区別でみると、他に比べ、千代田、大里東で「全学年1学級の状態が続くとき」の割合が高くなっています。

市が定める標準規模に満たない小学校が増加する中で、将来的な学校配置の考え方を確認しました。学校再編の検討資料として活用します。